

活動実績証明について

中級認定校における中級資格取得希望の学生は、在学中に計 80 時間以上の障がい者スポーツにおける活動経験を積まなければなりません。なお、中級障がい者スポーツ指導員申請時に「活動実績証明のコピー」を提出する必要があります。

中級認定校におかれましては、対象の学生が申請時まで 80 時間以上の活動実績を積めるよう、計画的なご指導をお願いいたします。

※活動を記録するための小冊子(活動実績証明)を送付いたしますので、認定校申請時に申請書(様式-6)の指定欄に必要な冊数をご記入ください。

記入する内容は・・・

障がい者スポーツ指導者として活動(指導・支援)した ことの記録として、

活動先の団体や担当者に証明を受けてください。

【 記入例 】

① 実施日 ② 実施内容 ③ 証明 ※団体名、担当者名(印)など

活動実績証明				
年	月	日	事項	証明者記名、印
H30	5	30	障がい者スポーツ大会(補助員)	〇〇協会
H30	9	10	知的障がい児水泳教室	〇〇スポーツセンター
H30	10	5	陸上練習	〇〇〇〇(個人名、印)

【 活動実績に含まれるもの(例) 】

- ・障がい者スポーツに関わる研修会や講習会に、受講者として参加した。
 - ・障がい者スポーツに関わる研修会や講習会の講師として携わった。
 - ・障がい者スポーツに関わる競技会やイベント、教室等に、審判員、補助員(ボランティア)等として携わった。
 - ・障がいをもつ個人(家族や友人等を含む)のスポーツ活動に加わった。
 - ・障がい者スポーツ団体(障がい者スポーツ協会・障がい者スポーツ指導者協議会・競技団体等)の支援・協力を行った。
- *「スポーツ」の中には、競技的なスポーツだけでなく、レクリエーションスポーツ、健康運動(体操)なども含みます。

【 証明欄について 】

- ・活動先が団体の場合は、団体名と担当者のサインや印など
- ・個人を対象に活動した場合は、指導の対象者や介助者、家族等のサインや印など

*なお、活動実績証明(冊子)に記入が難しいものは、別紙に実施内容、実施日、時間等を記入の上、関係者に証明を受けたものを活動実績証明として代えることができます。